

スポーツ川越

発行 川越市体育協会



彩の国まごころ国体 バレーボール（少年女子競技）川越運動公園総合体育館

彩の国まごころ国体に想う

彩の国まごころ国体川越市実行委員会

事務局長 高梨耕治

国民体育大会は、国内最大のスポーツの祭典であり、人々に大きな喜びと感動を与えるものといわれています。

私たち実行委員会では、選手・監督を始めとする多くの大会関係者が、国体を通して川越を訪れたことを喜びと感じていただけるよう、「市民総参加による国体」を基本理念として開催の準備に取り組んでまいりました。

川越市体育協会を始めとする各種機関・団体の皆様におかれましては、平成11年2月に設立した本会への参画を始め、昨年開催した本大会や平成15年度に開催したりハーサル大会では、多くの皆さんに、様々な形での積極的なご協力を賜り、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

さて、スポーツ活動には、「するスポーツ」、「見るスポーツ」、「さわるスポーツ」、「学ぶスポーツ」、「ささえるスポーツ」の5つがあるといわれています。私は、事務局長として国体の仕事に就かせていただいた中で、この5つのスポーツをすべて兼ね備えたものが、今回の「彩の国まごころ国体」であったのではないかと強く感じています。

「見るスポーツ」については、学校観戦での小中学生を始め、多くの方々が国体観戦のため、競技会場を訪れました。また、「ささえるスポーツ」については、多くの市民ボランティアの皆さんが大会運営や式典運営等に参画され、そのことが今回の国体を大成功に導いたと考えています。

今後は、彩の国まごころ国体の開催を契機として、一人でも多くの皆さんにスポーツへの関心を持っていただき、まず体を動かすことから始まり、やがて「するスポーツ」へ発展していくことを期待しています。

終わりに、国体の開催に当たり、多大なるご支援、ご尽力をいただいた多くの皆様に感謝申し上げますとともに、今回の国体が、本市生涯スポーツ振興の一助となることを祈念し、御礼のご挨拶いたします。

川越市生涯スポーツフェスティバル開催

平成十六年十一月三日(祝)、「川越ウォークソン大会」に替わり、新たに、「川越市生涯スポーツフェスティバル」が開催されました。

「川越ウォークソン大会」は、市制施行六十周年の記念事業として昭和五十七年十一月三日に第一回大会が開催され、その後二十二年間、本市の秋のスポーツイベントとして定着していました。

しかし、近年、ウォーキングの普及に伴い、大会としての目的が達成されたこと、また、市民の多様なスポーツニーズに答えられていないことなどにより、参加者数は減少し、見直しの必要性に迫られておりました。

そこで、昨年度来、スポーツ関係団体など関係者との検討を重ねた結果、「川越ウォークソン大会」を市民の誰もが、気軽にスポーツに親しむことができ、本市における生涯スポーツの振興につながる本市最大のスポーツイベントとするため、名称を「川越市生涯スポーツフェスティバル」と改め、内容を刷新し、開催することとなりました。

「川越市生涯スポーツフェス

イバル」の概要については、以下のとおりです。

【目的】気軽にスポーツに接する場を提供することにより、子どもから大人まで、市民の誰もが、スポーツの楽しさを味わえるとともに、市民相互の交流を図る場とする。

【主催】川越市・川越市教育委員会・毎日新聞社

【主管】川越市生涯スポーツフェスティバル実行委員会

【期日】平成十六年十一月三日(文化の日)

【会場】川越運動公園



【主な日程】

- ・開会式 九時
- ・各コーナー開始 十時
- ・閉会式 十四時

【参加対象】川越市内外を問わず

子どもからお年寄りまで

【参加費】無料

【内容】次の三部門を柱とする

- ・ウォーキングコーナー
- ・綱引き大会
- ・ふれあいコーナー(スポーツ体験コーナー)

その他に、マーチングバンド・川越市吹奏楽団によるアトラクション、抽選会、模擬店の出店がありました。

■参加状況

ウォーキングコーナー		綱引き大会		ふれあいコーナー(スポーツ体験コーナー)	
親子	407名	小学生	36チーム(413名)	14コーナー 690名以上	
一般	454名	中学生	17チーム(213名)		
小計	861名	一般	14チーム(175名)		
合 計		小 計		67チーム(801名)	
合 計		2,352名以上			

※ふれあいコーナー参加者数は、スタンブカード保持者数

◎ウォーキングコーナー

【開催時間】十時～十二時

【参加部門】親子の部・一般の部
小学三年生以下の子どもは、保護者同伴で親子の部に参加。先着八〇〇名。

【コース】陸上競技場～一般道(伊佐沼方面)～陸上競技場五キロメートル

【内容】「正しく・美しく・速く歩こう」をテーマに行う。

【表彰】完歩した参加者全員に参加賞、各部門十組以内にスタイル賞を授与。

【参加状況】

親子	407名
一般	454名
合計	861名



◎綱引き大会

【開催時間】 十時～十四時
【会場】 総合体育館メインアリーナ

【参加部門】 小学生の部（四年生以上）・中学生の部・一般の部
【内容】 トーナメント方式による勝ち抜き戦。

【チーム編成】 選手は男女混合十名（内男子七名以内）。交代要員は五名以内。

【表彰】 参加者全員に参加賞、一～三位までのチームに賞状賞品を授与。

【参加状況】

小学生	36チーム	413名
中学生	17チーム	213名
一般	14チーム	175名
合計	67チーム	801名

◎ふれあいコーナー

【開催時間】 十時～十四時

【内容】 スポーツ体験コーナー

【対象】 幼児から高齢者まで自由参加。



参加。

●陸上

〈会場・時間〉陸上競技場
十二時三十分～十四時
〈参加者数〉一八〇名

●ラグビーフットボール

〈会場・時間〉陸上競技場
十二時三十分～十四時
〈参加者数〉八〇名

●ペタンク

〈会場・時間〉自由広場
十二時三十分～十四時
〈参加者数〉三二五名

●グランドボウリング

〈会場・時間〉陸上競技場
十二時三十分～十四時
〈参加者数〉一二〇名

●ソフトバレーボール

〈会場・時間〉総合体育館サブアリーナ

十時～十四時

〈参加者数〉四三〇名

●卓球

〈会場・時間〉総合体育館サブアリーナ
十時～十四時
〈参加者数〉五〇〇名

〈参加者数〉五〇〇名

●ビームライフル

〈会場・時間〉総合体育館2階フロア
十時～十四時
〈参加者数〉二一八名

●なぎなた

〈会場・時間〉総合体育館武道場
十時～十四時
〈参加者数〉一四四名

●剣道

〈会場・時間〉総合体育館武道場
十時～十四時
〈参加者数〉一二五名



●ソフトテニス

〈会場・時間〉テニスコート
十時～十四時
〈参加者数〉二八七名

●テニス

〈会場・時間〉テニスコート
十時～十四時
〈参加者数〉二二三名

●グラウンドゴルフ

〈会場・時間〉自由広場
十時～十四時
〈参加者数〉六〇五名

●マレットゴルフ

〈会場・時間〉自由広場
十時～十四時
〈参加者数〉四八三名

●インディアカ

〈会場・時間〉自由広場
十時～十四時
〈参加者数〉四〇〇名

「川越市スポーツフェスティバル」を終えて



ウォーキングコーナーでは、九〇〇名近くの市民が、思い思いのペースで、秋の景色を味わいながらウォーキングを楽しんでいただきました。

綱引き大会では、チームが九丸となつて、熱気あふれる試合が展開され、体育館のメインアリーナには、大声援が響きました。

ふれあいコーナーでは、係員の親身な指導の下、幼児から高齢者まで、さまざまなスポーツにチャレンジし、楽しんでいただきました。

秋空の下、二、〇〇〇名以上の市民の方が川越運動公園に集い、心ゆくまでスポーツを楽しんでいただいた一日でした。

バレーボール連盟

川越市バレーボール連盟は、昭和二十三年に結成され、同時に川越市体育協会に加盟しました。結成当時は物資不足の頃、当時の関係者の努力で川越にバレーボールを定着させることができました。昭和四十二年の埼玉国体では、



一般男女、教員男子のバレーボール競技の会場となり、バレーボールの普及と市民の体力づくりを目的に「ママさんバレーボール」が始まりました。その後チーム数も徐々に増加、さらに小学生、実業団、クラブ等の部門別の大会を開催し、普及と競技力向上に努めて

まいりました。しかし最近では、スポーツの多様化、少子化等により競技人口の減少が続いています。

昨年「彩の国まごころ国体」では、少年女子のバレーボール競技会場となり、バレーボール連盟も大会成功に向けて協力、この国体を機にバレーボールが盛んになることを願っています。

サッカー協会

『二〇〇六年Wカップ最終予選』

を迎えている日本サッカー界。三回連続の出場を目指し、大いにもりあがっています。その熱戦に未来を夢見ているのが、川越市サッカー協会四種登録の子どもたちです。現在二十四団・小学校一年生から六年生まで約一四〇〇名が川越市サッカー少年団として活動しています。少年団としての活動の主体は大会の開催になり、二年生以下のジュニア大会から、六年生のライオンズ旗。全学年に亘る市民体育祭のほか七大会を主催しています。また、統一名称をサッカー少年団としているように、大会開催だけでなく、指導者、母集団(親の会)の研修なども実施し、子どもたちの環境整備にも力を注いでいます。現在、日本サッカー協会では、育成のプログラムを数多く実施し



ています。トレセン、指導者ライセンス、キッズプログラムなどです。川越市としても、トレセンについては、積極的に実施し、子どもたちの技術アップを図っています。また、キッズプログラムでは、低学年の試合を八人制にするなど、子どもたちにサッカーの楽しさを知ってもらおうよう対応しています。川越市サッカー少年団は、各団の交流を図ることはもちろんですが、こうしたサッカーの現場の変

体だより への展望

陸上競技協会

革に遅れることなく、大切な少年期の指導に当たっています。

平成十六年度の主な事業

■主催事業

- ・陸上講習会・記録会 (8回)
- ・ジュニア陸上講習会 (8月)
- ・四市ジュニア記録会 (8月)
- (川越・狭山・坂戸・吉川)
- ・審判講習会・公認審判員育成講習(有資格者28名)(4~5月)

■委託事業

- ・川越市民駅伝競走大会 (12月)
- 主管事業
- ・川越市民体育祭陸上の部 (8月)
- ・川越市民ロードレース大会 (1月)

■協力事業

- ・生涯スポーツフェスティバルウォーキングコーナー・ふれあいコーナー (11月)
- ・市民体育祭小学校陸上 (10月)
- ・施設管理公社陸上記録会 (5・9・3月)
- ・川越市公民館ウォーキング講座 名細 (5月)・北 (10月)
- 芳野 (3月)
- ・彩の国まごころ国体 (9・10月)
- ・県駅伝競走大会中学の部 (11月)

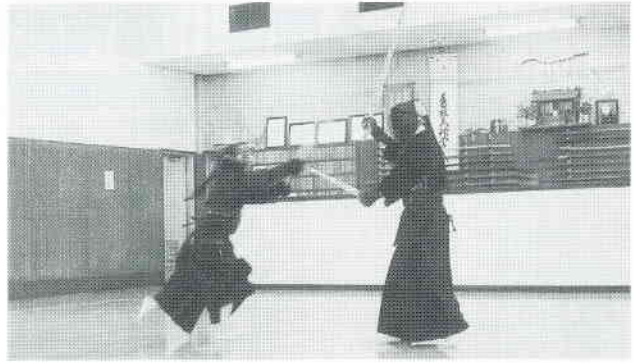
本年度は「彩の国まごころ国体」「生涯スポーツフェスティバル」など多彩なイベントへの協力活動が続き充実した一年だったと思います。

この間、視察研修(体協視察・全中陸上II前橋)、現行イベントの見直しなどにも取り組みました。今後はジュニアアスリートの育成、シニア(マスターズ)陸上愛好者の方々の競技種目の検討などに更なる努力を重ねて市民の皆様が目指す「生涯スポーツ」推進の基盤となるようがんばっていきます。



「小学生陸上競技教室」16.8.22(日)~23(月)

剣道連盟



当連盟は昭和三十年に結成され、今年平成十七年で五十周年を迎えます。当連盟は埼玉県剣道連盟各支部内においても会員数が多く、一年間を通して各種大会や講習会など行っています。さらに連盟最大の行事が毎年六月に総合体育館で行われる初段から三段までの段位審査会で、埼玉県西部各地より毎回一千四百名ほどの受審者が集まり会場溢れんばかりの熱気に包まれています。八月には福島県棚倉町の友好親善試合も行われます。当連盟には市内各所に連盟所属二十七団体の剣友会、高校、大

学があり、小学生から一般の人々が稽古に汗を流しています。本丸御殿近くの川越武道館では毎週水曜、金曜、日曜に初級の部、中級の部、一般の部、居合道部もあります。居合道部においては土曜日の夜、真剣を使用しての稽古ではまさに気を引き締めての稽古が行われています。現在範士八段を筆頭に五段以上の有段者が九十名近くにあります。近年女性剣士も増え、六段一名、五段七名、四段十名と多く、道場にも女性の気合いが響きます。剣道に興味のある方は、一度武道館をのぞいてみてください。一般の稽古時間は、水金が午後七時半より一時間、その他青少年、婦人部、詳しくは武道館事務所におたずねください。

ライフル射撃協会

ライフル射撃とは、銃器の精密さと人間の能力そして、精神力の組み合わせを味わうスポーツです。他の競技と比べ、極めて安全なスポーツと言われており、海外に於いても、射撃は青少年の育成においてに役だっていると言われています。「体力をあまり必要としないスポーツ」と誤解されている方がいると思われませんが、射手は全体力を結集し、銃を安定させ、かつ全

特集・団 21世紀



神経を集中させて静かに引き金を落とす、この事からも、この一連の動作が、いかに剛健な心身を必要とするかがお解りになると思われます。

昨年、十一月に行われた生涯スポーツフェスティバルふれあいコーナーに於て、銃所持の資格を持つていなくても実際の銃と同様の精密射撃の出来る、デジタルライフル射撃体験コーナーを設けたところ、幼稚園児からなかには大戦

以来六十年振りに銃を手にしたと言う方までおり、数多くの参加者が訪れ大変盛り上がりました。車椅子の方はもちろんのこと、要支援者の方まで射撃を楽しむ事が出来ます。

直径0・5ミリの十点を狙い、全神経を集中している姿が印象に残りました。

当協会では、市民が気軽に楽しめる市民スポーツとしての定着を計るべく、ライフル射撃の普及、及び発展に努めております。

文責 大野 充

レクリエーション協会

川越市民踊連盟

川越市民踊連盟は、発足以来、健康増進と生涯教育の一環としてまた日本古来の民踊を伝承するために活動しております。仲間同士のコミュニケーションを図り、豊かな人生を送りたい、また送れると信じて、市や県の行事に心弾ませて参加しています。

主な行事は、

- 3月 春祭り民踊流し踊り
- 4月 喜多院の桜祭り 一日から五日まで延べ四〇〇名参加

(昨年)

- 5月 全国講習会 全国の仲間と交流すると共に、日本各地の民踊を勉強し合います。



- 7、8月 各地区の盆踊り大会
- 10月 地区の運動会、市民体育祭
- 11月 市民文化祭民踊レクリエーション連盟創立五十周年記念行事へ昨年度実施、川越連盟より二百名以上参加

於 さいたまスーパーアリーナ

1月 新年会 などでした。

これからも、民踊の楽しさを少しでも広めるために、また自らの豊かな人生のために努力してまいります。



彩の国まごころ国体川越市開催競技会の実績



季 別		夏 季 大 会	
競 技 名(種別)		ゴルフ競技(成年・少年男子)	サッカー競技(成年男子)
大 会 期 間		9月11日(土)～13日(月)	9月11日(土)～14日(火)
大 会 会 場		社団法人 霞ヶ関カンツリー倶楽部	川越運動公園陸上競技場
参 加 人 数	選手・監督	376	272
	役員・ボランティア等	497	584
	来場者	3,343	5,888
	合計	4,216	6,744
参加都道府県		47都道府県	16道府県
成 績		■男女総合(団体) 優勝 熊本県/埼玉県(準優勝)	優勝 栃木県、宮城県 3位 愛媛県
		■成年男子(団体) 優勝 愛知県/埼玉県(準優勝)	4位 熊本県 5位 埼玉県、静岡県、京都府、岡山県
		■少年男子(団体) 優勝 神奈川県/埼玉県(5位)	

季 別		秋 季 大 会	
競 技 名(種別)		バレーボール競技(少女女子)	高等学校野球(軟式)競技
大 会 期 間		10月24日(日)～27日(水)	10月24日(日)～27日(水)
大 会 会 場		川越運動公園総合体育館	川越市初雁公園野球場
参 加 人 数	選手・監督	119	150
	役員・ボランティア等	1,745	1,292
	来場者	11,101	3,966
	合計	12,965	5,408
参加都道府県		10都道府県	10都県
成 績		優勝 長崎県 準優勝 山口県 3位 東京都 4位 埼玉県 5位 長野県、三重県 7位 秋田県、愛媛県	優勝 静岡県浜松商業高校 準優勝 広島県広島商業高校 3位 栃木県文星芸大附属高校 兵庫県神港学園神港高校

ジュニアの「国体観戦記」

高階南小学校六年 水越 彩さん
 何十年に一度の埼玉国体を見に行くときほど嬉しく待ち遠しい気持ちでいっぱいでした。

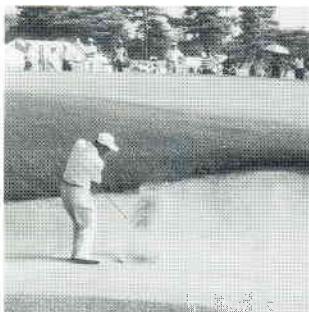
私たちは成年男子のサッカーを観戦しました。まるでオリンピックやワールドカップを見ているような気分でした。栃木対宮城の試合は攻防がとてつなく両県なかなか点が入りませんでした。さすが決勝まで勝ち抜いてきた県だと感じました。このような素晴らしい試合を見ることができ、私はスポーツにもっと関心を寄せるようになりました。

また、埼玉で国体が行われることがあったらぜひ見に行きたいです。
砂中学校バレー部 斉木美奈さん
 去年、埼玉県で開催された「彩の国まごころ国体」。川越市では、「少女女子の部」のバレーボールの試合が行われました。私たち砂

中バレー部は、試合を観戦しに行きました。

その日の試合は二つあり、二試合とも見る事ができました。どの県のチームの人も、百七センチメートルから百八センチメートルトルぐらいある人がいて、「うわあ、すごく背が高いなー。」とおどろいてばかりの私でした。

試合が始まると、選手のプレーから目が離せませんでした。確かにトス、「バシッ」と決まる力強いスパイク、どこまでも拾いつづけるレシーブ。その一つ一つのプレーが勝利へとつながっているんだなあと感じました。選手たちのプレーをみながら、私も「しっかりと練習しよう!!」と思いました。



ゴルフ 霞ヶ関カンツリー倶楽部



サッカー 川越運動公園陸上競技場



野球 川越市初雁公園野球場

第59回国民体育大会開催記念 第57回市民体育祭参加者

	参 加 者					合 計
	少年・少女	青 年	女 性	壮 年	その他	
野 球 連 盟					229	229
卓 球 連 盟		76	97	16	219	408
ソフトテニス連盟	54	22	48	26	4	154
バレーボール連盟	150	150	250	400	70	1,020
バスケットボール連盟	820				800	1,620
サッカー協会	1,002	400	15	275		1,692
柔 道 連 盟	272	58	105	40		475
剣 道 連 盟	96	54	12	24		186
弓 道 連 盟	100		23	10	9	142
空 手 道 連 盟	126	9	5	21		161
陸上競技協会	530	12		5		547
水 泳 協 会	848	157	52	154	21	1,232
スキ ー 連 盟	14	1	10	52	1	78
クレ ー 射 撃 協 会				6	19	25
ライフル射撃協会			1	19	4	24
スケ ー ト 連 盟	15	3		2		20
体 操 連 盟	54			24	88	166
小 体 連 盟	880					880
中 体 連 盟	5,134					5,134
高 体 連 盟		2,766				2,766
レクリエーション協会	23	19	211	230	430	913
バドミントン連盟		64	64	66	8	202
少林寺拳法協会	153	48				201
ソフトボール協会		211	132	2,260	945	3,548
テ ニ ス 協 会	85	525	525	156		1,291
ボウリング連盟		24	20	16	14	74
な ぎ な た 連 盟	4	1	48	1		54
ラグビーフットボール協会	220	42		50	3	315
ゲ ー ト ボ ー ル 連 盟			105		78	183
グランドゴルフ協会				52	723	775
合 計	10,580	4,642	1,723	3,905	3,665	24,515

少年少女=小・中・高校生 青年=30歳未満 壮年=30~60歳 その他=61歳以上

川越市スポーツ教室

No.	教 室 名	平成16年度参加者	平成15年度参加者	会 場
1	一般対象種目 ゴルフ	Aコース	15名	15名
2		Bコース	15名	15名
3		Cコース	15名	15名
4		Dコース	15名	15名
5	フットサル	26名	30名	総合体育館
6	ソフトバレーボール	34名	14名	市民体育館
7	スポーツ吹き矢	26名	17名	勤労青少年ホーム
小 計		146名	121名	
8	障害者対象種目・グラウンドゴルフ	22名	23名	運動公園自由広場
小 計		22名	23名	
9	女性対象種目 バドミントン	30名	28名	市民体育館
10	スイミング	20名	11名	川越スイミングスクール
小 計		50名	53名	
11	ジュニア対象種目 スイミング	41名	42名	仙波小学校
12	タグラグビー	21名	98名	市民体育館
13	スキ ー	募集中		草津国際スキー場
小 計		62名	140名	
14	ジュニア一般対象種目 スケート 卓 球	1 期	102名	79名
15		2 期	76名	109名
16		1 期	43名	50名
17		2 期	52名	53名
小 計		273名	291名	
18	親子対象種目 わくわく親子体操	87名	38名	市民体育館
小 計		87名	38名	
合 計		640名	652名	

■総合開会式

七月四日(日)川越市民体育館を会場の、第59回国民体育大会開催記念第57回市民体育祭総合開会式が開催されました。
三十団体、三六四名の参加のもと、力強い入場行進が行われました。

舟橋市長の挨拶に続いて、参加者を代表して野口暁則さんによる

第五十七回市民体育祭

選手宣誓が行われました。

■市民体育祭・町内体育祭

スポーツの秋、九月から十一月にかけて、各地区で小・中学校の校庭を会場として実施されました。

- ・実施自治会 一・二八自治会
- ・会 場 二十会場
- ・参加者数 一八、〇九八名



3 B 体操

第12回スポーツ指導者養成 講習会

第一日目	期日	11月18日(木) 午後6時30分~8時
第一日目	内容	「指導者としての アンチ・ドーピング」
	講師	埼玉医科大学教授 小林正幸先生
第二日目	期日	11月20日(土) 午後1時~4時
	内容	「キネシオテープ講習会」
第二日目	講師	エルグフィットネスクラブトレーナー 安田栄一先生
	期日	11月25日(木) 午後6時30分~8時
第三日目	内容	「生涯スポーツ時代に おける指導者の在り方」
	講師	埼玉県スポーツ研修センター指導主事 平井厚志先生
参加者延べ93名		

体育功労者 優秀選手表彰式

■期日 平成十七年二月六日
■会場 やまぶき会館中ホール
【体育功労者】 五名

金尾 洋氏 (ソフトテニス連盟)
栗原 稔氏 (バレーボール連盟)
猪狩徳則氏 (中学校体育連盟)
矢島隆夫氏 (少林寺拳法協会)
藤崎忠雄氏 (ソフトボール協会)
〔優秀選手賞〕
二三部門 三九五名



スポーツ講演会

■期日 平成十七年二月六日
■会場 やまぶき会館中ホール
■講師 アテネ五輪女子ソフトボール監督 宇津木妙子氏
■シドニー・アテネオリンピックソフトボール監督の宇津木妙子氏をお迎えして「夢と人生」と題してご講演をいただきました。

宇津木氏は、「成果に満足することなく、自分自身に克つこと」の大切さを話されました。練習は厳しいものですが、さらに上の目標に向かって、今まで練習をされた選手たちにも、目標を達成するには、どんな練習をしたらよいかとコミュニケーションをとりながら鍛えてこられたそうです。

どのスポーツにおいても、選手は一位を目指して厳しい練習に取り組んでいます。万一、よい結果とならなくても、これまでの練習の経過が大切なのだそうです。

夢があるから人生なのであり、自然の中で自分の目的を持って過ごすことが大切であり、これから新たな目標に向かって進んでいくとする宇津木氏の熱意が伝わってきました。

活躍する選手たち

■陸上競技 初雁中学校陸上部
顧問 成田 仁



齋藤裕一君

初雁中学校陸上部は三学年、二十二名の部員で活動しています。平成十六年度は通信陸上競技県大会に出場した齋藤裕一君が走

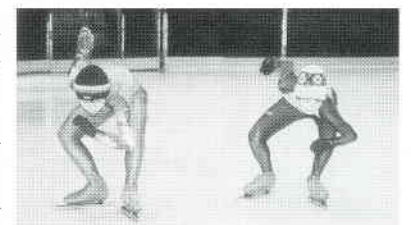
幅跳び二位という成績を修めました。また学校総合体育大会県大会では齋藤君が走幅跳びで全国大会の出場権を得ることができました。その全国大会では二位という結果を残してくれました。こうした結果を残したのも学校の理解と多くの方々の協力のおかげです。特に顧問の福島俊一先生が陸上部をここまで成長させてくれたお陰だと思っています。本当に感謝しています。

日頃の練習は福島先生の教えを忘れずにメニューを組み立てていきました。また何よりも新しく川崎哲也先生を迎えたことで大きな支えとなりました。

さて今回の齋藤君の全国大会出場二位は本人の意志と精神的な強さで勝ち取ったものと私は考えています。本人も夏の練習を「全国入賞を目指して頑張った夏休みの日々。自分を信じ自分に甘えず努力を続ければ、いつか思いは叶う。」と語っています。私自身も齋藤君がいかに結果を出す練習とリラクゼーションができるかを目標に毎日努力してきました。

今後においても微力ですが、個人競技といわれる陸上を部員全員で協力しながら一つ一つ前進できるように指導していきたいと思っています。

■スケート連盟 渡辺啓大君
新井開人君



(右) 野田中1年大会 1000m優勝
田中新人大会 1500m優勝
渡辺啓大君 (野田中1年)
太田啓大君 (野田中1年)
新井開人君 (野田中1年)
(左) 渡辺啓大君 (野田中1年)
新井開人君 (野田中1年)

■両君とも本年度全国中学校スケート競技大会 (八戸市) に出場

■スケート競技の魅力は スピード感と達成感が何とも言えない。

■(新井) 自分の足では不可能なスピードを出せるそう快感。

■練習日は 月・水・土の週三日。試合前は宿泊練習もある。

■練習内容は 一つは、体重移動をスムーズにする片足滑走。そして、持久力と瞬発力を養うためのインターバル練習と長距離練習。今はこの二つが中心。

■目標と抱負を 全中で決勝に残ること。そのためにつらい練習に耐えて大会に向かいたい。

■(新井) 決勝に残りたい。他の選手以上の努力を積み重ねて行く。

■少林寺拳法協会 吉野広二・雅望

私は、愛知県名古屋ドームで開催されました、二〇〇四年少林寺拳法全国大会に、埼玉県代表として、娘と親子演武の種目で出場しました。少林寺拳法の大会は勝ち負けを競うものではなく、日頃の修行 (練習) の成果を発表する場で、順位は決めますがそれが全てではありません。出場した小学生から壮年拳士まで、みんな楽しく演武をしていました。

道場では、大会のための練習時間を設けることはなく、練習時間後や練習日以外の日に大会の練習をします。なので普段の練習をしっかりとすることが大切になります。けれど、大会が近づいてくると、先生や先輩方に見て頂き、アドバイスを受けます。

少林寺拳法は開祖宗道臣先生が「人づくりによる国づくり、社会に役立つ人間」を育てようと思いつけられた物であるから、良い選手になるのではなく、良い指導者になることを目標に日々、修練しています。

編集後記

原稿を例年になく早くご提出いただき、編集委員一同、感激しました。今後も一層紙面作りに努力いたします。ご指導お願いします。